

4. プラス防犯の提案について

4-1 プラス防犯の取り組みの提案にあたって

4-2 道路

4-3 公園

4-4 駐車場・駐輪場

4-5 学校

4-6 住宅

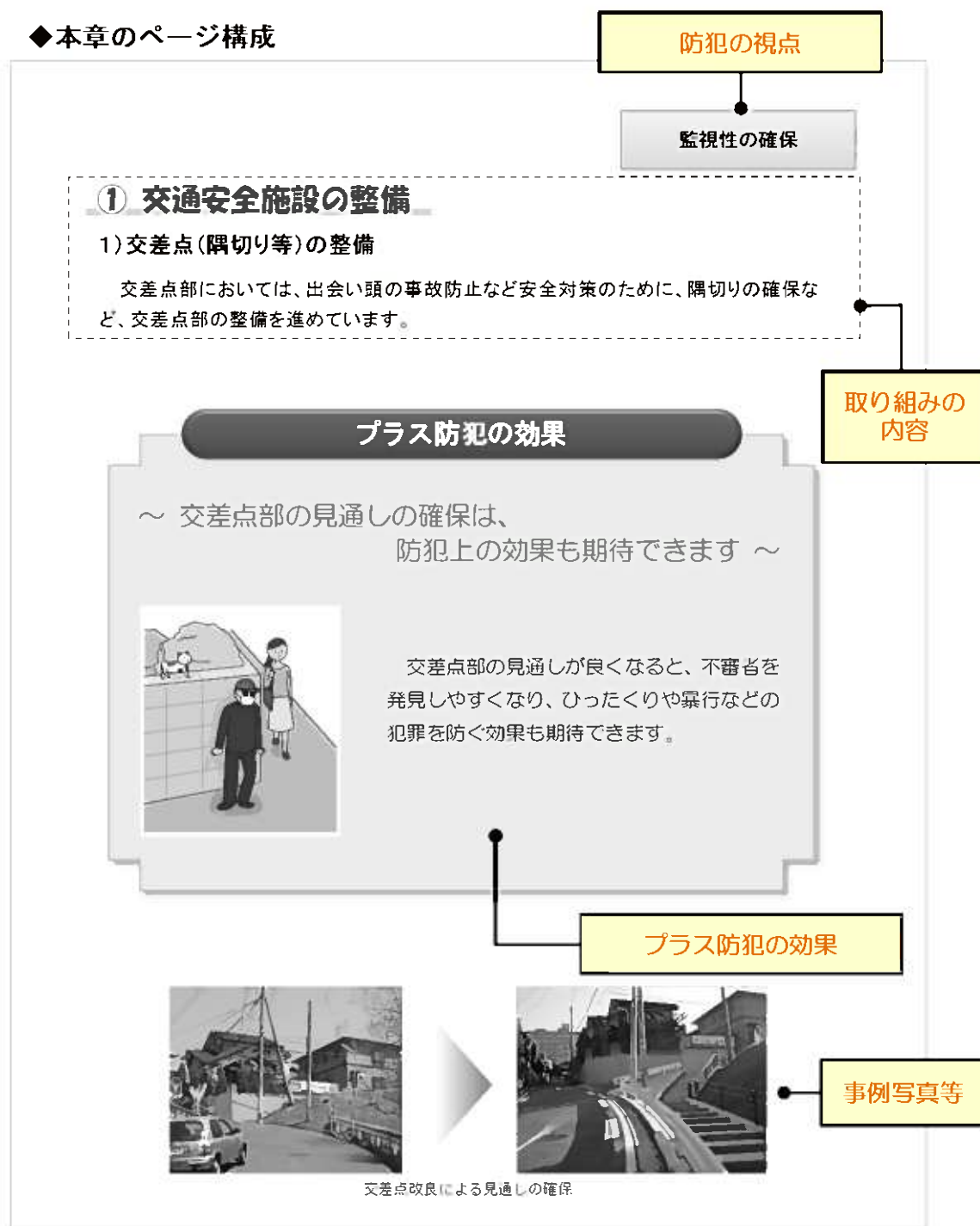
4-7 市民等の活動

4-1 プラス防犯の取り組みの提案にあたって

本書では、プラス防犯の考え方をもとに、道路や公園、住宅などの施設整備とともに、市民や地域のボランティア活動、さらには事業者の活動などハード・ソフトの両面からプラス防犯の取り組みを提案します。

防犯コミュニティ、犯罪のないまちづくりは、特別なことではなく市や民間の施設整備、さらには市民活動、企業活動など私たちの身近なところにあり、このことを知っていただけてひとつでも、少しずつでも実践をしていただきたいと思います。

◆本章のページ構成



4-2 道路

| No. | 分類 | 取り組み(整備内容) | 防犯の視点 |
|-----|-----------|------------------------------------|--------|
| ① | 交通安全施設の整備 | 交差点(隅切り等)の整備 | 監視性の確保 |
| | | LED 道路照明の整備 (照度の確保) | |
| | | ハンプ、狭さく等の整備 | 領域性の強化 |
| | | ゾーン 30 の設定 | |
| | | 歩車道境界ブロックの設置 ガードレール、植栽帯等の 整備 | 接近の制御 |
| ② | 景観・環境の向上 | 道路植栽の適正な維持管理 | 監視性の確保 |
| ③ | バリアフリーの推進 | 歩道橋の撤去、 電柱の移設等 | |



整備にあたっては、それぞれの施設の設置基準等に適合する必要があるため、実施場所の確認や設置条件、関係機関との協議など、総合的な面から検討を行います。

① 交通安全施設の整備

1) 交差点(隅切り等)の整備

交差点部においては、出会い頭の事故防止など安全対策のために、隅切りの確保など、交差点部の整備を進めています。

プラス防犯の効果

～ 交差点部の見通しの確保は、
防犯上の効果も期待できます ～



交差点部の見通しが良くなると、犯罪企図者(※)を発見しやすくなり、ひったくりや暴行などの犯罪を防ぐ効果も期待できます。

※犯罪企図者とは、犯罪を行おうとする者を言います。



交差点改良による見通しの確保

監視性の確保

2) LED 道路照明の整備（照度の確保）

夜間の交通事故防止や温室効果ガスの削減による環境の向上などを目的に、道路照明の LED 化を進めています。

プラス防犯の効果

～ 明るい道路の空間づくりは、
防犯上の効果も期待できます ～

道路での照明灯設置（照度の確保）は、視認性の確保や犯罪企図者の発見など、歩行者や自転車利用者などの安心感の向上にも有効です。また照明を LED 化することでその効果はさらに高まります。

※見通しを良くして明るくすることがポイントです。



道路照明灯の設置例

3) ハンプ、狭さく等の整備

歩行者の安全対策や交通事故の削減などを目的に、住宅地などにおけるハンプや路面標示、コミュニティ道路(狭さく)等の整備を進めています。

プラス防犯の効果

～ ハンプ、狭さく等の整備は、
防犯上の効果も期待できます ～

ハンプやコミュニティ道路の整備により自動車の走行速度が抑制されるとともに、犯罪企図者が侵入しにくく、逃走しにくい環境となるため、防犯上の効果も期待できます。 <次頁参照>



ハンプ



コミュニティ道路
(クランク)



コミュニティ道路
(狭さく)

領域性の強化

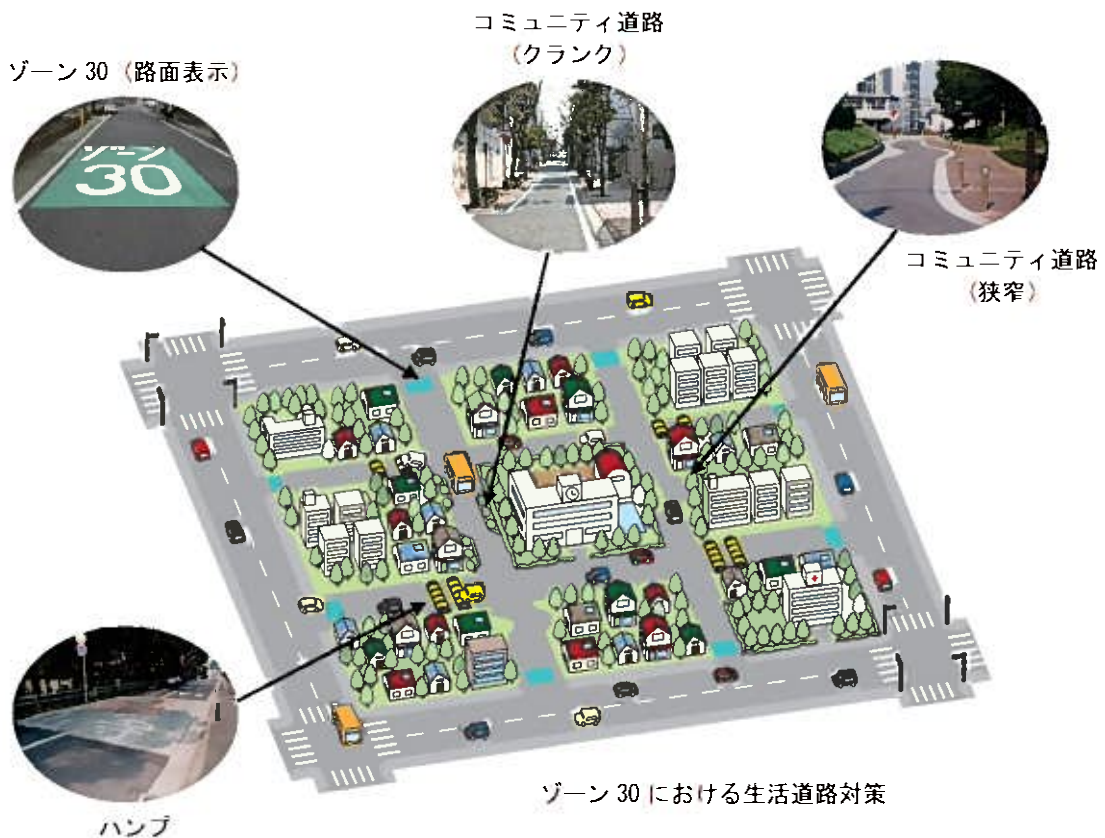
4)ゾーン 30 の設定

ゾーン 30 とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

プラス防犯の効果

～ ゾーン 30 の整備は、
防犯上の効果も期待できます ～

このような対策により自動車の走行速度が抑制され、部外者が侵入しにくく、逃避しにくい環境とすることができ、防犯上の効果も期待できます。



5) 歩車道境界ブロックの設置

車道から歩道への車の乗り入れを防ぐことにより、歩行者と自動車の接触を防止し、歩行者の安全を確保するため、歩車道境界ブロックの設置を進めています。

プラス防犯の効果

～ 歩車道境界ブロックの設置は、
防犯上の効果も期待できます ～

歩車道境界ブロックの設置により、歩道と車道が分離され、車道を走行する自動車やオートバイから歩行者に対する連れ去り、窃盗（ひったくり）などの犯罪を防ぐ効果も期待できます。



歩車道境界ブロック

接近の制御

6) ガードレール、植栽帯等の整備

歩行者と車両の接触防止や、歩行者の横断防止などのために、歩車道境界におけるガードレール・ガードパイプの設置を進めています。また、このような交通安全面、さらには道路景観や環境の向上のために、植栽帯等の設置も行っています。

プラス防犯の効果

～ ガードレール、植栽帯等の整備は、
防犯上の効果も期待できます ～



ガードレール、植栽帯等の設置により、歩道と車道が分離され、車道を走行する自動車やオートバイから歩行者に対する連れ去り、窃盗（ひったくり）などの犯罪を防ぐ効果も期待できます。



ガードパイプで歩道と車道を分離した道路



植栽で歩道と車道を分離した道路

② 景観・環境の向上

1) 道路植栽の適正な維持管理

道路景観の向上とともに、出会頭の事故などの交通安全対策のため、道路植栽の適正な維持管理(剪定等)を進めています。

プラス防犯の効果

～ 道路植栽の適正な維持管理は、
防犯上の効果も期待できます ～



道路空間において、周囲からの自然な視線を常に確保することが、犯罪企図者が犯罪に着手しづらい環境をつくることにつながります。

特に、道路で発生する犯罪の対象者が周囲から見守られやすくなり(視認性の向上)、防犯上の効果が期待できます。



作業前



作業後

③ バリアフリーの推進

1) 歩道橋の撤去、電柱の移設等

高齢者や障害者、ベビーカーの利用者など誰もが歩きやすい歩行空間の確保を目指し、可能なところから歩道橋の撤去を進めています。また、電柱の撤去や移設により、歩道の有効幅員が広がり、歩きやすい道づくりにつながります。

プラス防犯の効果

～ 電柱の移設などバリアフリーの取り組みは、
防犯上の効果も期待できます ～



歩道橋の撤去や電柱の移設は、道路空間の死角が無くなるとともに、犯罪企図者が隠れるスペースが取り除かれるため、犯罪の予防や犯罪企図者の発見など防犯上の効果も期待できます。



歩道橋（撤去前）



歩道橋（撤去後）



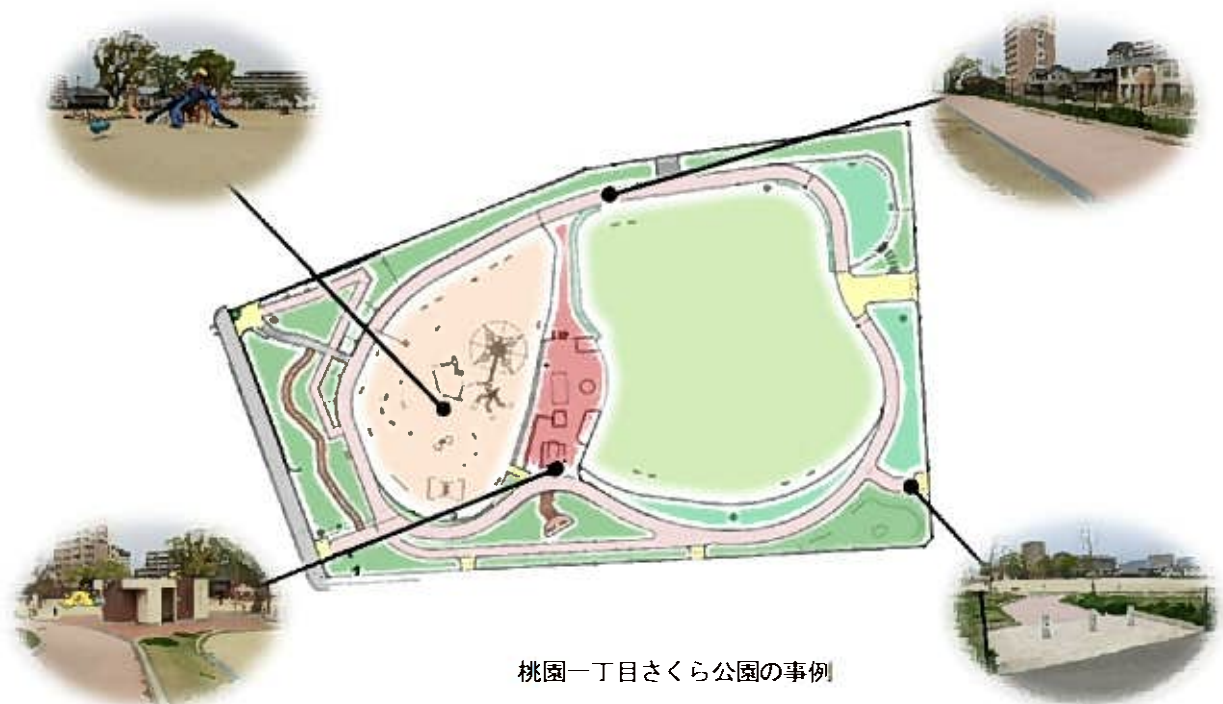
電柱（移設前）



電柱（移設後）

4-3 公園

| No. | 分類 | 取り組み(整備内容) | 防犯の視点 |
|-----|-----------------|---|--------|
| ① | 安全性・利便性等の向上 | 園路の整備 | 監視性の確保 |
| | | トイレの整備 | |
| | | 遊具広場(ゾーン)の整備 | 領域性の強化 |
| | | 出入口の整備 | |
| | | 視認性の良い外構整備 ①フェンス等公園外周の整備 ②植栽の剪定や樹木の整理(撤去) | |
| ② | 景観・環境の向上 | LED照明の整備(照度の確保) | 監視性の確保 |
| ② | 健康増進・子育て・コミュニティ | 見守りの目の増加 ～公園利用の活性化～ | |
| | | ①健康広場の整備 | |
| | | ②休憩舎の設置 ③ふれあい花壇、菜園事業 子育てコーナーの整備 | |



① 安全性・利便性等の向上

1) 園路の整備

歩行者の動線の明確化による公園の利便性向上のため、公園内に園路を整備しています。また園路はジョギングなどに利用されることなどから、公園利用者の増加にもつながります。

プラス防犯の効果

～ 公園内の明確な歩行者動線の確保は、
防犯上の効果も期待できます ～



公園内の歩行者動線を明確にすることにより、利用者や通行人からの自然な視線が確保され、犯罪企図者を発見しやすくなり、防犯上の効果も期待できます。

また、園路をジョギングなどに活用することにより、公園利用者の増加が見込まれ、監視の目の増加にもつながります。



園路の整備（明確な歩行者動線）

2)トイレの整備

トイレを利用しやすくするために、利用者や周囲から見えやすい位置にトイレを設置しています。

プラス防犯の効果

～ トイレの配置の工夫は、
防犯上の効果も期待できます ～



トイレを周囲から見えやすい位置に配置することで、公園利用者などの視線が確保されるため、犯罪企図者が犯罪に着手しづらくなり、防犯上の効果も期待できます。



周囲から見通せるトイレの設置例

監視性の確保

3) 遊具広場(ゾーン)の整備

公園は幼児、小・中学生からお年寄りまで、幅広い年齢層の利用者がいます。このような異なる年齢層の利用者の安全性を確保し、利用動線の交錯を避け、また視認性を確保するように、幼児や小学校低学年が利用する遊具広場(ゾーン)の配置を工夫しています。

プラス防犯の効果

～ 遊具広場(ゾーン)の整備は、
防犯上の効果も期待できます ～

遊具広場を周囲から見えやすく整備することで、公園利用者などの視線が確保されるため、犯罪企図者が犯罪に着手しづらくなり、防犯上の効果も期待できます。



遊具広場(ゾーン)の整備の工夫

4) 出入口の整備

公園を利用する子どもの道路への飛び出しによる事故防止など、交通安全対策として、公園の出入り口を工夫(設置場所や箇所数)しています。

プラス防犯の効果

～ 出入口の工夫は、防犯上の効果も期待できます ～



公園の出入り口を限定することで犯罪企
図者などが侵入しにくくなり、防犯上の効果
も期待できます。



出入口を限定した公園の例

監視性の確保

5) 視認性の良い外構整備

子どもの公園からの飛び出しの防止等の観点から、公園の内外からの見通しを確保するために、下記の取り組みを行っています。

◆フェンス等公園外周の整備

外周道路(交差点)での事故防止など交通安全対策として、公園の敷地境界(外構)をフェンス等見通しの良い施設で整備しています。

◆植栽の剪定や樹木の整理(撤去)

公園の景観の向上や、樹木の防虫、防病対策のため、植栽の適正な維持管理(剪定等)を進めています。

プラス防犯の効果

～ 視認性の高い外構整備を行うことは、
防犯上の効果も期待できます ～



公園外周における見通しの良いフェンス等の設置や、植栽の適正な維持管理(剪定)は、公園周囲からの自然な視線が確保され、公園で発生する犯罪の対象者が周囲から見守られやすくなり(視認性の向上)、防犯上の効果も期待できます。



見通し良い公園外周施設の整備例



公園外周の整備前

見通しの良い施設に整備

② 景観・環境の向上

1) LED 照明の整備（照度の確保）

公園の夜間景観の向上や、利用者の安全性の向上などのために、夜間の人通りのある場所などへの照明を設置しています。また、電球の交換作業の低減や温室効果ガスの削減による環境の向上などの目的から、照明の LED 化を進めています。

プラス防犯の効果

～ 明るい公園の空間づくりは、
防犯上の効果も期待できます ～

公園での照明灯設置（照度の確保）は、視認性の確保や犯罪企図者の発見など、公園利用者などの安心感の向上にも有効です。また照明を LED 化することでその効果はさらに高まります。

※見通しを良くして明るくすることがポイントです。



LED 照明の設置例

監視性の確保

③ 健康増進・子育て・コミュニティ

1) 見守りの目の増加 ～公園利用の活性化～

幅広い年代層による公園利用の促進や、地域のコミュニティづくりの場としての公園利用のために、下記の取り組みを行っています。

◆健康広場の整備

高齢者をはじめとした利用者の健康づくりに貢献するため、健康遊具などが配置された健康広場の整備を進めています。

◆休憩舎の設置

利用者の休養施設として、また地域のコミュニティづくりの場として活用されることを目指して、休憩舎の設置を進めています。

◆ふれあい花壇、菜園事業

多くの市民の交流の場として、公園利用の活性化につなげるため、公園内の未利用地を活用したふれあい花壇の整備や菜園事業を進めています。

プラス防犯の効果

～ さまざまな取り組みによる公園利用の活性化は、
防犯上の効果も期待できます ～

健康広場、休憩舎、ふれあい花壇、菜園事業などの取り組みにより、多くの市民が公園を利用することで、公園利用者の増加による監視の目が増加し、犯罪企図者の発見など防犯上の効果も期待できます。

◆健康広場の整備例



◆休憩舎の設置例



◆菜園事業の実施例



公園内の未利用地を活用



公園内の未利用地を菜園として活用

領域性の強化

2) 子育てコーナーの整備

子どもの安全強化を図るため、幼児等が利用する遊具を周囲からフェンス等で区分するなど、子育てコーナーの整備を進めています。

プラス防犯の効果

～ 子育てコーナーの整備など、公園のゾーニングの工夫は、防犯上の効果も期待できます ～



遊具スペースをフェンス等で区分することにより、不審な大人が入ってきた場合も発見しやすく、子どもの連れ去り対策など防犯上の効果も期待できます。



幼児の遊具コーナーをフェンスで区分